



# 創立70周年に寄せて

前校長 森山 晴美

在任中に校長室の本棚から60周年の記念誌を取り出して読んだことが昨日のようです。三田高の定時制の歴史は即都立高定時制の歴史、この間の世の変貌を思うと遙かな思いに打たれます。

僅か二年間の多忙な日々が私のできたことは何であつたか、顧みると

実にささやかなことにすぎませんが、活性化を願う教頭さんや先生方といういろいろ話し合ったことが頭に浮かびます。

学級滅の趨勢の中での生徒集め、都に訴えに行つたこと、定時制の学校生活を多彩にするための行事の工夫―演奏会・スキー教室・球技大会・百

人一首等に皆で力を入れたこと、毎週生徒と一緒に給食を食堂で食べたこと、何より大切な進級・卒業に関しては、それまでの過程を特に大切に慎重に審議し個々の生徒の問題についてもよく実情を確かめ誠実に対処する等々、それまでと同様心がけました。

それでもいろいろな事があり、オープンスペースでの夕礼ではたった一度だけですが強く叱責したことがあります。またある時は自習の授業を代行してみても、学力も関心を両極化している教室の実態に、授業の難しさを感ずりました。

がらも必要とする生徒のために定時制高校は存在し、そこでは今も友情や青春が展開していると思います。青葉会の皆様は、改めまして三田高定時制の70周年をお祝い致します。

三田高校での学生時代を語り合うとき、給食のことは必ずといって良いほど、話題にのぼります。今年六月に、母校で給食をいただく機会がありました。その日の献立は、グリーンピース御飯・キャベツと油揚げのみそ汁。めかじきのソーテー・ポイル野菜添え

# 母校の給食情報

・もやしと赤ピーマンのごまドレッシング

・牛乳

・びわ

とてもおいしかった！給食開始時刻は一時限日終了後の六時十五分からです。食堂で食べます。セルフサービスで、会社の社員食堂か大学の学食を思い出しました。



# 懐かしい三田高校、青葉会へ

前教頭 中野 英雄

三田高校を去ってまだ一か月ほどしか経っていないのですが、なんだか随分と時間が過ぎてしまったように感じます。国際高校では慌ただしく時間が過ぎて行きます。職員室で先生方とのんびりと、穏やかに、和やかに過ごした日々が嘘のようです。すっかり浦島太郎状態で、その気になれば乙姫様？もいるかもしれない葦宮城？が懐かしい思

いでいっばいです。離任式で生徒に話しましたが、優しく、面倒見の良い先生方と一緒に仕事ができ、一番幸せだったのは実は私だったと、今更ながら感謝の気持ちでいっばいです。いつも言っていたことです

徒と先生が親しく話せ、和気あいあいとした雰囲気こそ何事にも換えられない三田高校定時制の伝統だと思えます。その伝統が、卒業しても母校を愛する気持ちとなり、毎年の同窓会の開催の原動力となっているのです。定時制で毎年同窓会を開いている学校は、そうざらにはありません。

また、青葉会とPTA、生徒たちとの交流を深め

られたのは石田前会長、五百川会長お二人の、とても暖かいお人柄のおかげです。青葉会の皆さんが後輩達のことをいつも心に留め、力を尽くして下さることが有り難く、とても感謝していました。

今年度は定時制創立七十周年の記念行事で大変お忙しい事でしょう。私は部外者となつてしまひ、残念なような、ほっとしたような複雑な心境

青葉会の益々の発展を願っています。

青葉会の益々の発展を願っています。

青葉会の益々の発展を願っています。

青葉会の益々の発展を願っています。

# 平成元年度より10年間卒業生推移表

回	年度	卒年度	生徒数	男	女
第42回	平成元年度	平成2年3月卒業	27名	22名	5名
第43回	平成2年度	平成3年3月卒業	31	20	11
第44回	平成3年度	平成4年3月卒業	39	29	10
第45回	平成4年度	平成5年3月卒業	23	14	9
第46回	平成5年度	平成6年3月卒業	28	19	9
第47回	平成6年度	平成7年3月卒業	18	10	8
第48回	平成7年度	平成8年3月卒業	25	19	6
第49回	平成8年度	平成9年3月卒業	14	10	4
第50回	平成9年度	平成10年3月卒業	20	11	9
第51回	平成10年度	平成11年3月卒業	14	11	3
		計	239	165	74